



## 令和5年度 日南町同和教育推進協議会総会を 対面方式で4年ぶりに開催

7月6日に総合文化センターさつきホールにおいて、令和5年度総会を開催しました。同和教育推進協議会は、全町民に部落問題等あらゆる人権問題について正しい認識を広げるとともに、差別のない明るい町づくりを目指すことを目的として設立されました。町議会議員・町内事業所代表・各自治会代表・地域の同和教育推進員・町内学校代表・役場職員の代表等で構成されており、町を挙げて活動を行っています。

総会では、令和4年度の活動報告をし、令和5年度活動計画などを協議しました。総会後は、それぞれの専門的な事業に対応するため部会を行い、今年度行う個別

事業の検討を行いました。検討の結果、今年度は次のような事業を行います。

### ●意識調査の実施

全町民を対象に、人権問題に対する意識調査を行います。調査票は、準備が整い次第、各家庭に郵送しますので、調査への回答にご協力をお願いします。

### ●みんなの人権・小地域懇談会

今年度は「インターネット上の差別」をテーマに行います。

### ●同和教育研究会の開催

11月25日（土）に町総合文化センターさつきホールで開催する予定です。

その他、事業所を対象とした職場研修会の開催等も予定しています。各行事の様子は、次号以降でお伝えします。

## 第4回ふれあい人権講座

### 「アンコンシヤス・バイアス」

■講師 吉畑早苗さん

(米子人権擁護委員協議会)

7月11日に、人権センターを会場に講座を開催しました。

「アンコンシヤス・バイアス」とは、「無意識の偏見(思い込み)」を意味し、本人が気づいていない

偏ったものの見方やゆがんだ認知のことを指します。

一例ですが、「親が単身赴任と聞くと、父親を想像する」という見方の深層には、「母親なら子どもより仕事を優先するわけがない」といった思い込みがあるのではないのでしょうか。

アンコンシヤス・バイアスは、時代によって変化するとも言われています。スポーツ活動等でのしごきや体罰は、かつては勝つためにはある程度必要である、と容認されていた時代もありました。このように、それを行うことが（言うことが）はばかられない社会（空気）は、時代によって変化します。また、アンコンシヤス・バイアスは、その人が育った環境や個人的経験などによって形成され、誰もが持っているものなのです。

個人のアンコンシヤス・バイアスが社会の中で多数化され、正当化されると、それがさらに偏見や差別を生みます。まずは一人ひとりが、アンコンシヤス・バイアスを持つていないか自分自身に目を向けることが偏見や差別を減らすことにつながり、社会を変えていくきっかけになるのではないのでしょうか。

## 【お知らせ】

### 第6回ふれあい人権講座

#### 「精神病と精神障がい者とは」

■日時 9月12日（火）

午後6時から

■会場 人権センター

■講師 若月好さん

(人権教育サポーター)

### 9月の人権・行政相談所

■日時 9月8日（金）

午前9時～正午

■会場 子育て支援センター

(道の駅にちなみ日野川の郷向かい)

人権や行政の仕事に関する相談を人権擁護委員・行政相談委員が無料でお受けします。予約は不要ですので、お気軽にご相談ください。

